

<p>名 称</p>	<p>群馬大学共同教育学部附属中学校 P T A</p>
<p>会 員 数</p>	<p>432人（令和5年5月1日現在）</p>
<p>組 織 ・ 運 営</p>	<p>1 組織</p> <p>(1) 本部役員14名 顧問2名、会長1名、副会長4名、書記2名、会計2名、会計監査3名</p> <p>(2) 本部理事36名（各クラス2名） 本部役員・理事とで6つの常任委員会（総務委員会、進路対策委員会、新聞委員会、厚生施設委員会、保健安全委員会、教養委員会）に所属し、活動を行っている。</p> <p>(3) 附中サポートスタッフ約90名</p> <p>2 運営</p> <p>(1) P T A総会（年1回、紙面開催）</p> <p>(2) P T A理事総会（年1回）</p> <p>(3) P T A本部役員会（年5回）</p> <p>(4) P T A理事会・集会（1、2年は年3回、3年は年2回）</p> <p>(5) 常任委員会（年3回程度）</p> <p>時代や環境の変化に伴う働き方・暮らし方の多様化を考慮し、保護者や教師の負担軽減のための工夫を行い、P T A活動が円滑に運営できるように活動内容の確認、見直しを適宜行っている。</p>
<p>主 な 活 動</p>	<p>1 時代に合わせた活動</p> <p>様々な場面でICTを取り入れて活動している。資料のデータ化やP T A理事会・集会など各種会議のオンライン開催や共働き家庭への配慮、活動や運営への参画方法の多様化を実現するために対面とオンラインのハイブリットで学校行事を運営した。このような取組により時間的制限の緩和、学校以外の場所でも情報の共有が可能になる空間的制限の緩和など、効率的・効果的なP T A活動の積極的な推進を図ることができた。</p> <div data-bbox="999 1352 1398 1664" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">学校保健委員会</p> <p>また、「附中サポートスタッフ」（保護者ボランティア）を創設し、時代に合わせた持続可能なP T A活動を目指して、積極的に改革に取り組んでいる。現在、卒業生の保護者を含め約90名の保護者が「附中サポートスタッフ」に登録し、体育大会や文化祭、公開研究会などで、動画の配信や会場準備、受付など様々な場面で活動している。「附中サポートスタッフ」の募集や学校行事への協力を募る際も、フォーム等を活用することで集約なども</p>

効率よく進めることができた。



体育大会前日準備



登録募集のチラシ

2 総合的な学習の時間「未来創造科」への協力

総合的な学習の時間「未来創造科」の授業に、PTAや地域住民の方が参加し、学習のアドバイザーとしての役割を果たしている。例えば、生徒が探究しているテーマについての中間検討会や講座内発表会に参加し、様々な立場から助言を行っている。また、探究している課題を解決するために、生徒からのインタビューや実践に協力し、生徒とともに、課題の解決を目指している。これらの活動を通して、生徒の学習活動における意欲や効果を高めるきっかけとなる活動に取り組んでいる。




講座内発表会

また、3年生の代表生徒が、「未来創造科」における1年間の学習成果を発表する「未来創造科シンポジウム」では、発表者に対してPTA本部が講評を行った。「未来創造科シンポジウム」では、「環境、防災、エネルギー」、「社会、経済、情報」、「健康、福祉」、「伝統・文化、教育」の4つの講座の代表グループが発表を行い、「未来創造科シンポジウム」に参加した保護者は、学校代表として最もふさわしい発表へ投票を行った。



未来創造科シンポジウム

名 称	伊勢崎市立赤堀中学校 P T A
会 員 数	729人（令和5年5月1日現在）
組 織 ・ 運 営	<p>1 組織</p> <p>○本部役員 ・会長1名 ・副会長3名 ・書記2名（父母1名、教職員1名） ・会計2名（父母1名、教職員1名）</p> <p>○地域支部役員 地域支部長18名</p> <p>○学年役員 63名（学級数×3名）</p> <p>○専門委員会役員（地域支部役員、学年役員から振り分けられる） ・生涯・家庭教育委員会 26名 ・安全厚生委員会 29名 ・広報委員会 26名</p> <p>2 運営</p> <p>原則、全家庭がPTAに加入している。本校PTAは本部役員と地域支部役員及び各学年役員で組織され、さらに、地域支部役員と学年役員は、3つの専門委員会役員に振り分けられる。地域と各学年から選出された委員で構成されているため、様々な視点からの情報や意見が活動に反映しやすい。</p> <p>年度初めのPTA総会で年間事業計画を明確にし、各組織において引継が確実に行われているため、PTA活動は円滑に運営されている。</p>
主 な 活 動	<p>1 各家庭の教育力向上のための取組</p> <p>1年生の学習参観と連携して行っている「情報モラル講習会」では、スマホや携帯電話の正しい使い方やSNSとの関わり方等について親子で学ぶ場となり、家庭の教育力向上に寄与する貴重な機会の一つとなっている。</p> <p>2年生では、学習参観と連携して「性教育講演会」を行っている。性について正しく理解するとともに、かけがえのない命の大切さについて親子で学ぶ場となり、こちらも家庭の教育力向上に寄与する貴重な機会となっている。</p> <p>また、ここ数年SNSが原因の生徒間トラブルが増えてきているため、スマホ等の使い方を各家庭でも指導するように、PTA会長が各学年の保護者会等、機会を捉えて呼びかけるようにしている。さらに、PTAの活動目標の一つとして、情報モラル教育を掲げ、総会資料にもスマホ等を子どもに持</p> 

たせるにあたっての注意事項やルールなどを掲載した。

2 生徒と PTA の結びつきを強化するための取組



生徒の専門員会活動の一つである自治委員会が、「あいさつのできる学校」の実現のために、朝のあいさつ運動に取り組んでいる。PTA 本部役員も年に数回、テスト前の部活動停止期間に朝のあいさつ運動に自主的に参加している。部活動停止期間を選んだの

は、朝練習がないので、より多くの子どもの声をかけられるためである。保護者からの声かけに、いつも以上に大きな声であいさつを返す生徒の姿が見られた。また、生徒の登校の様子を見ることで、教職員とはまた違った視点で、学校としての課題や問題点に気づけることもある。それらを、本部役員会等の場で教職員と情報共有したり、対応策を検討したりすることで、学校、保護者、地域が一体となり、生徒の健全育成を支えていく体制づくりに努めている。

本校は、平成27年3月に新校舎竣工となり、移転作業が行われ、同年4月に現在の場所に新校舎が開校した。新校舎開校に伴い、施設をきれいな状態で次世代まで引き継いでいってほしいという願いを込め、また、学校でのトイレ清掃活動を通して、施設を大切に使う気持ちや相手を思いやる心を育てていきたいと考え、PTA 主催の校内トイレ清掃活動「トイレぴかぴかプロジェクト」を実施してきた。コロナ禍により活動を中止した時期もあったが、昨年度より再開し、今年度も多くの PTA 役員が参加し、生徒と一緒に校内のトイレをぴかぴかに磨き上げた。今年度は、文化祭の前日に、PTA 本部役員と学年役員の有志が通常の清掃活動時間に生徒と協力して清掃活動を行い、その後足りない部分を PTA でより念入りに作業をして、きれいに仕上げた。今後は、活動の回数を増やしたり、トイレ以外の場所にも活動を広げていったりしていけたらと考えている。参加者も、密を避けるために昨年度と今年度は PTA 本部役員と学年役員に絞って行ったが、より多くの PTA 会員が参加できる方法を探していきたい。



生徒と一緒にあいさつ運動や清掃活動に取り組むことで、PTA と生徒たちとの結びつきが深まり、PTA 活動が子どもたちの成長にプラスの影響を与えていると確信している。もともと、積極的に行事等に参加してくれる保護者が多く、安心・安全で生活しやすい学校環境づくりについても PTA は協力的である。その風土を大切に、今後さらに生徒と PTA の結びつきを強化するための取組を充実させていきたい。

名 称	太田市立強戸中学校 P T A																																																																										
会 員 数	1 9 8 人(令和 5 年 5 月 1 日現在)																																																																										
組 織 ・ 運 営	<p>1 組織 本部役員 8 名 (丸数字は教職員) (会長 1 名、副会長 2 ・ ①名、書記 1 ・ ①名、会計 1 ・ ①名) 会計監査 1 名 学年委員 各学年学級数×2 計 12 名</p> <p>2 運営 ・本部役員会 (年 3 回) ・企画委員会 (年 6 回・本部・会計監査・学年委員) P T A 総会 (年 1 回・R5 年度は参集型で開催)</p>																																																																										
主 な 活 動	<p>【P T A 組織や活動の見直し】</p> <p>① 少人数の役員でも企画・運営できる組織 R2 年度の P T A 改革で大幅な組織改編が行われ、R3 年度から活動を開始したが、R4 年度より参集しての P T A 活動に戻っていった。少人数の役員でも企画・運営できる組織であることが確認された。これにより、P T A 役員数は改革前 73 名で全会員の約 30%であったが、改革後は 17 名で全会員の約 10%となり、P T A 会員数に適した役員数となったのではないかと考えられる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">改革前</th> <th colspan="2">改革後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">P T A 本部役員 (丸数字は教職員)</td> </tr> <tr> <td>会長</td> <td>1 名</td> <td>会長</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td>3~5 名 ①名</td> <td>副会長</td> <td>2 名 ①名</td> </tr> <tr> <td>書記</td> <td>1 名 ①名</td> <td>書記</td> <td>1 名 ①名</td> </tr> <tr> <td>会計</td> <td>1 名 ①名</td> <td>会計</td> <td>1 名 ①名</td> </tr> <tr> <td>会計監査</td> <td>2 名</td> <td>会計監査</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td colspan="4">P T A 組織 (丸数字は教職員)</td> </tr> <tr> <td>実行委員会 (26~28 名 ③名)</td> <td></td> <td>企画委員会 (17 名 ③名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>本部役員 6~8 名 ③名</td> <td></td> <td>本部役員 5 名 ③名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学年委員長 3 名、</td> <td></td> <td>学年委員 12 名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>専門部委員長 4 名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地区委員長 13 名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>学年委員会 各学年 6 名</td> <td></td> <td>学級数×2 名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地区委員会 13 地区各 4 名</td> <td></td> <td>廃 止</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">学年委員長を除く学年委員と地区委員から専門部員を割り振る</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">専門委員会 (丸数字は教職員)</th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化委員会</td> <td>12 名 ①名</td> <td rowspan="4">廃 止</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>保健体育委員会</td> <td>13 名 ①名</td> </tr> <tr> <td>厚生施設委員会</td> <td>18 名 ①名</td> </tr> <tr> <td>校外補導委員会</td> <td>12 名 ①名</td> </tr> </tbody> </table>	改革前		改革後		P T A 本部役員 (丸数字は教職員)				会長	1 名	会長	1 名	副会長	3~5 名 ①名	副会長	2 名 ①名	書記	1 名 ①名	書記	1 名 ①名	会計	1 名 ①名	会計	1 名 ①名	会計監査	2 名	会計監査	1 名	P T A 組織 (丸数字は教職員)				実行委員会 (26~28 名 ③名)		企画委員会 (17 名 ③名)		本部役員 6~8 名 ③名		本部役員 5 名 ③名		学年委員長 3 名、		学年委員 12 名		専門部委員長 4 名				地区委員長 13 名				学年委員会 各学年 6 名		学級数×2 名		地区委員会 13 地区各 4 名		廃 止		専門委員会 (丸数字は教職員)				文化委員会	12 名 ①名	廃 止		保健体育委員会	13 名 ①名	厚生施設委員会	18 名 ①名	校外補導委員会	12 名 ①名
改革前		改革後																																																																									
P T A 本部役員 (丸数字は教職員)																																																																											
会長	1 名	会長	1 名																																																																								
副会長	3~5 名 ①名	副会長	2 名 ①名																																																																								
書記	1 名 ①名	書記	1 名 ①名																																																																								
会計	1 名 ①名	会計	1 名 ①名																																																																								
会計監査	2 名	会計監査	1 名																																																																								
P T A 組織 (丸数字は教職員)																																																																											
実行委員会 (26~28 名 ③名)		企画委員会 (17 名 ③名)																																																																									
本部役員 6~8 名 ③名		本部役員 5 名 ③名																																																																									
学年委員長 3 名、		学年委員 12 名																																																																									
専門部委員長 4 名																																																																											
地区委員長 13 名																																																																											
学年委員会 各学年 6 名		学級数×2 名																																																																									
地区委員会 13 地区各 4 名		廃 止																																																																									
専門委員会 (丸数字は教職員)																																																																											
文化委員会	12 名 ①名	廃 止																																																																									
保健体育委員会	13 名 ①名																																																																										
厚生施設委員会	18 名 ①名																																																																										
校外補導委員会	12 名 ①名																																																																										

(主な改革内容)

- ・本部役員定数の削減。
- ・学年委員を1クラス3名に変更し、地区役員、専門委員会を廃止。
- ・専門委員会が行事の企画・運営していた行事は、活動内容を精選して企画委員会で引き継ぐ。
- ・少ない人数でもPTA活動が継続できるように組織改革を行い、保護者・教職員の負担軽減を図った。
- ・体育文化後援会会長はPTA会長が兼任するようになった。

② PTA 活動内容の見直し

- ・「子どもの健全な成長を見守る」活動の充実を第1目標にPTA活動の見直しが行われた。R3年度までは活動自体が自粛されていたが、R4年度には全てのPTA活動を対面で行った。見直しを行ったPTA活動の例は以下のとおりである。

改革前	改革後
・修学旅行等の見送り (3回)	→ 廃止
・学校保健委員会参加 (2回)	→○学校保健委員会参加 (2回)
・夏祭り補導	→ 廃止
・青パトによるパトロール	→ 廃止
・体育祭後援	→ 廃止
・PTAセミナー	→◎子育てセミナーへ変更
・合唱コンクール後援	→ 廃止
・資源回収 (2回)	→ 廃止 ◎親子奉仕作業へ変更
・PTA球技大会	→ 廃止
・心の教育講演会	→◎心の教育講演会

- ・見直し後のPTA活動は企画委員が分担して参加、運営を行うこととした。◎印の活動については全PTA会員（保護者・教職員）にも案内を出し、参加を呼びかけている。

【地域の各種団体との連携】

- ・強戸小学校、強戸中学校の1つの小学校、中学校で中学校区を構成している。そのため強戸地区にある各種団体（強戸地区コミュニティ運営委員会や強戸地区青少年健全育成推進会議、強戸地区子育て連等）の役員に強戸中PTA役員だけでなく、強戸中PTA会員が兼務していることが多い。学校区の規模が小さいことで、地域の各種団体とより連携して活動することができることが強戸中PTAの強みである。